

税金の大切さ

四国中央市立三島南中学校 3年 澤田 叶夢

私は、十年前、幼稚園の時に東日本大震災に遭いました。当時、私は福島県いわき市に住んでいました。今でも、あの頃の記憶が少し残っています。幼稚園のバスの中で母の迎えを何時間も不安になりながら待っていたこと、消防車の不気味なサイレンなどとても怖い気持ちでいっぱいでした。兄は、小学校で私と母を待っていたのですが、迎えが遅くて「二人とも死んじゃったのかな」と思っていたそうです。何度も続く地震や津波の影響で誰もが不安と恐怖でいっぱいの中、消防や警察、自衛隊の方々は、非常時対応部署として私達を助けてくれました。十万人以上のたくさんの方々が派遣されたそうです。その中の自衛隊の取り組みとしては、救助活動や食料、水の配達など困っている人のために、命の危険がありながらも、一生懸命頑張ってくれました。国民のヒーローである自衛隊、警察、消防の方々は、税金で動いてくれています。

税金で動いてくれているということは、税金がなかったら、とても大変なことになります。災害が起きても、助けに来てくれません。助けられた命があっても、助けられなくなってしまうかもしれません。そう思えば、税金が私達の生活で欠せないとても重要なものだ実感します。

警察官にスピード違反で注意されている車の中の人警察官にむかって、「税金どろぼう！」

などと言う人がいるそうです。これを聞いて、私は、とても腹が立ちました。国民のことを守ってくれているのに、なんでそんなにひどいことを言うのかと思いました。確かに、私達のお金で税金を払っており、それで警察が全然、国民のために動いていないとなると、「税金どろぼう。」と言いたくなるかもしれないけど、日本の警察官は、国民のために色々なことをして下さっているので、むしろ、感謝すべきだと私は思います。

税金は、とても大切です。でも、消費税が10%になったりと、税金がどんどん高くなっています。誰もが自分のお金がどんどん税金になってしまうのは、嫌だと思います。でも、これからの日本の未来のために税金はとても大きな一歩になると思いました。だから、国民みんなで税金を納めることが大事です。八月に東京オリンピックが開催されました。オリンピックに出場された選手は、キラキラと誰もが輝いており、私達に勇気と感動をたくさん与えてくれました。このオリンピックだって、みんなの税金がないと成り立っていません。税金のおかげでオリンピックが開催されています。オリンピックで日本だけでなく、世界中の人々が笑顔になったと思います。だから、税金はみんなを笑顔にすることができるのです。そのことを忘れずに、私は、未来が明るくなるよう税金を納めていきたいです。

